

2020年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：データ処理特論Ⅱ	
担当教員名：香取薫・飯田俊郎	
<p>授業科目概要：</p> <p>社会調査には量的調査と質的調査があるが、ここでは主に量的な社会調査の理論と実践を扱う。アンケート調査を中心とした社会調査は政策立案やマーケティングに有益なデータを得るための手段だが、企画・設計が正しくおこなわれていなければ偏った情報となってしまう。そこで、本講義では、調査手法について概説した後、社会調査に必要な手続き（調査のテーマ設定、検証すべき命題の検討、調査対象の設定および標本抽出）について、知識と技法を習得する。また、調査項目の設定から調査票の設計まで、データベースソフトを用いた実習をまじえながら学ぶ。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>Excel の操作能力があることを受講の条件とする。実習では Excel とフリーソフト EZR を使用する。できれば自前のノートパソコンにインストールして持参してほしい。</p>	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名：テキスト社会調査 著者／編者：小林修一ほか 出版社：梓出版社 出版年：2005年</p>	<p>書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：</p>
<p>書名：初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析 著者／編者：神田善伸 出版社：南江堂 出版年：2015年</p>	<p>書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：</p>
<p>書名：EZRでやさしく学ぶ統計学～EBMの実践から臨床研究まで 著者／編者：神田善伸 出版社：中外医学社 出版年：2015年</p>	<p>書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>調査票の作成、サンプリング、仮説検証の3つの技能をすべて習得したことをもって合格とする。さらに、この3項目の習得レベルに応じて加点して評価する。</p>	

授業目標及び進め方：

問題意識を検証可能な仮説の形式に整理し、そこで用いられる概念を操作的に定義し、質問文と選択肢を作成し、調査票を設計する技法を習得する。

また、仮説検証の前提となる適切な標本抽出（サンプリング）の代表的かつ実践的な技法を習得する。

さらに、講師が用意するデータを用いて、仮説検証がうまく行くケースと行かないケースの違いを学ぶ。

毎回の授業は、社会調査法の講義とデータ処理の実習を半々で進める。

第1回	テーマ：問題関心 内 容：都市の「暮らしやすさ」に関する受講生の問題関心を語り合う 教科書／参考書
第2回	テーマ：概念の定義 内 容：問題関心で用いられる用語を操作的に定義する 教科書／参考書
第3回	テーマ：仮説の構築 内 容：操作的に定義された用語を組み合わせる仮説を構築する 教科書／参考書
第4回	テーマ：質問文と選択肢の作成 内 容：仮説を検証するために適切な形式で質問文と選択肢を作成する 教科書／参考書
第5回	テーマ：調査票の作成 内 容：回答者が答えやすい流れと分量になるよう調査票を作成する 教科書／参考書
第6回	テーマ：調査方法の選択 内 容：データを統計処理するための様々な調査票配布・回収法を学ぶ 教科書／参考書
第7回	テーマ：確率比例抽出法 内 容：住民基本台帳からその縮図となるサンプルを抽出する技法を学ぶ 教科書／参考書
第8回	テーマ：層化二段抽出法 内 容：大規模な人口からその縮図となるサンプルを抽出する技法を学ぶ 教科書／参考書
第9回	テーマ：サンプルサイズの算出 内 容：人口動態と仮説に応じて適切なサンプル数を算出する技法を学ぶ 教科書／参考書
第10回	テーマ：サンプリングの成功と失敗 内 容：実際のデータを用いてサンプリングの成否を見極め対処法を学ぶ 教科書／参考書
第11回	テーマ：単純集計 内 容：単純集計の段階で調査票とサンプリングの改善点を発見する 教科書／参考書
第12回	テーマ：クロス集計 内 容：クロス集計の段階で調査票とサンプリングの改善点を発見する 教科書／参考書
第13回	テーマ：平均の差の分析 内 容：平均の差の分析の段階で調査票とサンプリングの改善点を発見する 教科書／参考書

第14回	テーマ：分散分析 内 容：分散分析の段階で調査票とサンプリングの改善点を発見する 教科書／参考書
第15回	テーマ：重回帰分析 内 容：重回帰分析の段階で調査票とサンプリングの改善点を発見する 教科書／参考書